

# 2025年9月24日リリース ゴールデン☆ベスト／城之内ミサ

1988年から1994年の7年間在籍したムーンレコード時代をまとめた初の本格的ベスト盤の登場！  
城之内ミサ本人が選曲し、7枚のシングル曲を含みアルバムからも選曲した全16曲、ワーナー期  
城之内ミサの世界を存分に堪能出来る1枚。2025年最新マスタリング！！



## 収録楽曲

- 01 あの頃(デビュー・シングル)
- 02 抱きしめてOnce again (2ndシングル)
- 03 気まぐれ白書 (2ndシングルB面)
- 04 舞い降りた天使 (3rdシングル)
- 05 Cafe CLASSIQUE  
(愛はいつも) (4thシングルB面)
- 06 光あふれて～requiem (5thシングル)
- 07 遥かなる季節に (6thシングル)
- 08 愛の力 (7thシングル)
- 09 5月の雨 (7thシングルB面)
- 10 Reve～さまよえる時
- 11 フランシス～あなたへ・・・
- 12 海辺の光景
- 13 哀しみの大地から
- 14 家路
- 15 蒼い風景
- 16 忘れないで

## 城之内ミサプロフィール

東邦音楽短期大学音楽作曲楽理専攻在学中より「3年B組金八先生」等の人気ドラマやCM、映像音楽の作編曲等プロの活動を始め、88年から現在まで国立パリ・オペラ座、パリオーケストラ団と共演のオリジナルアルバムを発表。自らの音楽を指揮し、映像と音楽の寸分違わぬ演奏で「神業」と評価された。映像女性音楽作曲家として「ゲキバンの女王」の第一人者でもある。また、コンサート、『興福寺・阿修羅展』でのVR映像の音楽を担当するなど活動は多様。チャリティコンサートや日本と各国を結ぶ記念事業コンサートを実施し、好評につき再演の声も高い。これらの国際的な活動実績を評価され、2006年に

国連機関ユネスコ本部から『ユネスコ平和芸術家』の称号を与えられる。  
作曲部門では日本人で初の任命。ユネスコ平和芸術家音楽家・東邦音楽大学特任教授

## 今後のライブスケジュール

10月28日(火) フランス・パリ・マドレーヌ寺院 世界遺産トーチランコンサート開催  
『 Prière- concert franco-japonais pour la paix 』 「祈り～平和のための日仏コンサート」  
@ フランス・パリ マドレーヌ寺院 (世界遺産エリア)

11月26日(水) さくらホール世界遺産トーチランコンサート  
ユネスコ創立80周年記念/日韓国交正常化60周年記念  
(国連機関ユネスコ・パリ本部 公式パートナーシップ事業)  
ユネスコ平和芸術家 城之内ミサ 世界遺産トーチランコンサート ～ The Bridge of Culture ～

12月23日(火) 世界遺産トーチランコンサート 番外編「ミサ会」@原宿ラドンナ  
オープン18:00 ショウタイム19:00  
毎年恒例・城之内ミサ バースデーライブ  
演奏：世界遺産トーチランコンサートオーケストラ・スペシャルメンバー

<https://www.oursongs-creative.jp/johnouchi/>

## ゴールデン☆ベストライナーノーツより (ライター・長井英治氏)

城之内ミサは1960年12月23日、東京都出身。東邦音楽短期大学在学中の1980年、ドラマ『ただいま放課後』の23話「見たいんだ、君の笑顔が」で初めて劇伴を手がけている。

「モーツァルト／ピアノ協奏曲第26番“戴冠式”第2楽章」が全編に流れる回だったため、教授からの勧めもあり学生だった彼女に白羽の矢が立った。この作品に参加したことがきっかけとなり、その後も多くのドラマ音楽を手がけ、やがて“劇伴の女王”の異名を取るようになる。『毎度おさわがせします』『夏・体験物語』『親子ジグザグ』『とんぼ』『3年B組金八先生』など、城之内ミサがこれまでに手がけた劇伴は優に400を超えている。

“劇伴の女王”と呼ばれた彼女が歌うことになったのは、1987年から1990年まで5回にわたり放送されたドラマ『塀の中の懲りない面々』がきっかけだった。ドラマのプロデューサーからエンディングに歌ものを使いたいという要望があり、劇伴だけでなくエンディングテーマも彼女が担当することになった。その曲はのちにシングルになった「抱きしめて Once again」だが、この曲は彼女が中学2年生の時に作詞・作曲をした曲で、そのままの形で提出したら即採用になったそう。偶然にもドラマと歌詞の内容がリンクしていた。ちなみに、1991年に放送された、『塀の中のプレイ・ボール』には今回収録されている「哀しみの大地から」が起用された。

1987年に放送されたドラマに『スタンドバイミー～気まぐれ白書～』がある。城之内が音楽を手がけたドラマ『親子ジグザグ』が、諸事情により25話のところ20話で終了してしまっただけで、残りの5話分を埋めるために急遽制作されたドラマだった。時間のない中の制作だったため、劇伴だけでなくこのドラマでも彼女が主題歌を歌うことになる。児童保護施設をテーマにしたこのドラマは話題となり、最終回は26.8%という高視聴率で幕を閉じた。城之内ミサによる主題歌「気まぐれ白書」も当然話題となり、ラジオ番組等にリクエストが殺到した。

そんな彼女の活躍ぶりに注目をしていたのが、アルファ・ムーンの創業者であった小杉理宇造氏で、小杉氏からの強い勧めもあり、1988年1月25日にシングル「あの頃」でデビュー。「あの頃」はドラマ『親子ウォーズ』の主題歌に起用されヒットを記録し、シンガー・ソングライター“城之内ミサ”として本格的に活動を開始することになった。ドラマ主題歌として話題となったシングル「あの頃」、「抱きしめて Once again」「気まぐれ白書」を収録したファーストアルバム『Dramagic』は、「ドラマ」と「マジック」を合わせた造語で、彼女にふさわしいタイトルになり、アルバムはヒットを記録した。

セカンドアルバム『Cafe CLASSIQUE』は、フランスの最高峰であるパリ・オペラ座管弦楽団の演奏で制作されている。指揮、アレンジを手がけたのがジャン＝クロード・プティ (Jean-Claude Petit) で、フランスのアカデミー賞と呼ばれるセザール賞を受賞した映画音楽の巨匠だ。ジャン＝クロードに大きく影響を受けた彼女は、約3年間日本とフランスを行き来し、ジャン＝クロードに師事することになる。その間、音楽的な知識や技術だけでなく、“独創的であれ”というマインドを強く叩き込まれたという。サードアルバム『cine nuance』も同時期にフランスで録音されているが、ブックレットに掲載されている演奏家の数の多さに驚かされる。

今回の収録曲には他にも、「舞い降りた天使」(ドラマ『スタンドバイミーII～気まぐれ天使～』主題歌)、「Cafe CLASSIQUE (愛はいつも)」(伊勢丹婦人ファッションキャンペーンソング)、「光あふれて～requiem」(東芝日曜劇場『息子よ』テーマソング)、「遙かなる季節に」(東芝日曜劇場『俺達に明日は来るのか』テーマソング)、「愛の力」(映画『マンハッタン・キス』テーマソング)、「家路」(ドラマ『女子刑務所東3号棟』主題歌)など、多くの作品のテーマソングになっている。

アルファ・ムーン (MMG、イーストウエスト・ジャパン) との契約終了後、移籍したソニー・ミュージックからリリースされたアルバム『Theatre MJ』では、国立パリ・オペラ座管弦楽団による演奏で自作のシンフォニーを指揮した。同楽団を指揮したのは、日本人では小澤征爾に次いで2人目で、女性としては世界初という快挙を成し遂げた。

2000年代に入り、音楽でアジアの情景やシルクロードの旅を綴った、アルバム『華』『華II』シリーズをリリース。ヒーリングミュージックの先駆けとして話題になり、全米ニューエイジチャートにもランクインしている。その後は、多くのインストアルバムをリリースする傍ら、東邦音楽大学パフォーマンス総合芸術文化専攻主任特任教授、東邦音楽短期大学シンガーソングライター・アーティスト専攻特任教授の他、日本人作曲家としては初の任命となったユネスコ平和芸術家、平城遷都1300年記念事業音楽広報大使を務めるなど、多岐にわたり活躍している。2020年にはセルフカバーアルバム『BLAST FROM MY PAST』をリリース。デビュー当時と変わらない美声を聴くことができる。

城之内ミサが最初に劇伴を手がけてから、早くも45年の歳月が流れようとしている。長い音楽生活の中で、アルファ・ムーン (MMG、イーストウエスト・ジャパン) 時代はたった5年ではあるが本作を手にとって下さるリスナーの方に向けてメッセージをいただいた。

「私は元々歌ものも劇伴の一部と考えて制作していたんですが、ある時から“シンガー・ソングライター”を意識するようになっていきます。その気持ちの移り変わりのようなものが、私の青春時代の喜びと苦悩と共に (笑)、ぎっしりこのCDに詰まっています。私が描いてきたサウンド・スケッチが、聴いて下さる方の気持ちにリンクする瞬間があったらとても嬉しいですね。」